



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月9日

上場会社名 株式会社クリーマ 上場取引所 東
コード番号 4017 URL <https://www.creema.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸林 耕太郎
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート (氏名) 伊藤 彩紀 TEL 03(6447)0105
ディビジョンGM
半期報告書提出予定日 2025年10月9日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト・個人投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	1,234	△1.1	14	△12.6	29	86.0	23	△29.4
2025年2月期中間期	1,248	0.7	16	241.8	16	△37.1	33	163.0

(注) 包括利益 2026年2月期中間期 23百万円 (△31.0%) 2025年2月期中間期 33百万円 (162.7%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	3.53	-
2025年2月期中間期	5.00	4.98

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、2026年2月期中間期については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	3,549	1,128	31.8
2025年2月期	3,366	1,105	32.8

(参考) 自己資本 2026年2月期中間期 1,128百万円 2025年2月期 1,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2026年2月期	-	0.00	-	-	-
2026年2月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点において、2026年2月期の配当予想額は未定であります。

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,755	9.9	100	△3.0	99	△4.7	66	△35.4	9.88

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2025年2月28日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年2月期中間期	6,740,100株	2025年2月期	6,740,100株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	43株	2025年2月期	43株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年2月期中間期	6,740,057株	2025年2月期中間期	6,734,410株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2025年10月9日（木）にSBI証券のウェブサイトにて機関投資家・アナリスト・個人投資家向けの説明会をライブ配信で開催し、決算補足説明資料を当社のウェブサイトにて公開します。

また、決算補足説明資料を日本取引所グループウェブサイト上の「適時開示情報閲覧サービス」に掲載します。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(収益認識関係)	8
(1株当たり情報)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「まるくて大きな時代をつくろう」という企業理念のもと、クリエイターエンパワーメント事業を展開しています。日本ならびに中国語圏におけるグローバルハンドメイドマーケットプレイス「Creema(クリーム)」に加え、同サービスと連携可能な唯一のネットショップ開設サービス「InFRAME」の運営を行うマーケットプレイスサービス、「Creema」のプラットフォームを活用し、出店クリエイター・企業・地方公共団体のマーケティング支援を行うプラットフォームサービス、日本最大級のクリエイターの祭典「HandMade In Japan Fes' (東京ビッグサイト)」などの大型イベントを展開するイベントサービス、さらには、クリエイターの創造的な活動を応援することに特化したクラウドファンディングサービス「Creema SPRINGS」、人気アーティストのレッスン動画プラットフォーム「FANTIST」など、クリエイターの活動を支援するサービスを様々な角度から展開し、クリーム経済圏の確立と、クラフトカルチャーの発展に取り組んでいます。

マーケットプレイスサービスにおいては、季節ごとのトレンドを捉えた各種マーチャンダイジング施策を実施するとともに、YouTubeやInstagramなどの動画メディア活用を強化し、クリエイター作品の魅力を訴求することで新規顧客の獲得を進めました。あわせて、SEO対策の強化やアプリ内検索画面のUI改善、プッシュ通知機能のアップデート等に取り組んだほか、インフラ基盤の整備や、今期中にリリースを予定しているギフト関連機能をはじめとする新たな収益源となる各種機能開発も推進しました。さらに、全国の人気クリエイターによる一点ものやカスタムオーダー作品など500点以上を厳選した「Creema GIFT CATALOG」の提供を開始し、ギフト市場における新たな顧客接点の創出にも取り組みました。一方で、Web広告市場における単価高騰に加え、検索エンジンのコアアップデートに伴うSEOランク下落の影響が新たに生じました。さらに、前期(2025年2月期)に発生した当社ドメイン名を悪用した「なりすましメール」の横行が長期化したことや、法令対応として導入した3Dセキュア2.0もユーザー行動に一定の影響を与え、流通拡大のハードルとなりました。その結果、当該期間におけるマーケットプレイスサービスの流通総額は73億円(前年同期比96%)、売上高は717,268千円(前年同期比96%)となり、前期実績をわずかに下回る結果となりました。なお、当中間連結会計期間においては、クリエイター数が約30万人、登録作品数が約2,062万点、スマートフォンアプリの累計ダウンロード数が約1,581万回を突破するなど、主要KPIは引き続き堅調に推移しています。

プラットフォームサービスでは、「Creema」のプラットフォームとユーザー基盤を活用し、企業・地方公共団体向けのPR支援を展開する外部広告にて、地方自治体と連携した共同イベント「Creema Craft Caravan」の開催や伝統工芸品・地域産品の販路開拓支援プロジェクト、また、大手不動産会社からのイベントプロデュース受託など、当社ならではのPR企画を多数提案・実施しました。また、クリエイターが「Creema」上で自身の作品をプロモーションできる内部広告においては、利用促進を目的としたプロダクト改善や各種キャンペーンを推進しました。加えて、新作や再販、割引クーポン、送料無料キャンペーンなどの情報を、クリエイターがフォロワーのスマートフォンに直接プッシュ通知で届けられる新サービス「クリエイタープッシュ」の提供を開始しました。本サービスはサブスクリプション型であり、クリエイターによる販促活動を強く後押ししつつ、新たな収益源を確保しています。これらの結果、プラットフォームサービスの売上高は350,263千円(前年同期比106%)となりました。

イベントサービスにおいては、2025年7月19日・20日に「HandMade In Japan Fes'」を開催いたしました。一方で、「Creema YAMABIKO FES」の開催を今期は見送っております。その結果、売上高は80,705千円(前年同期比74%)となり前年水準を下回りました。しかしながら、「HandMade In Japan Fes'」の売上は、前年から大きく伸長しており、計画比でも順調に推移しています。

新サービス群では、クリエイターやものづくり事業者の創造的活動を支援する「Creema SPRINGS」において、多様なプロジェクトが引き続き起案され、その多くが目標支援金額を達成しました。また、「FANTIST」では、クリエイターが制作・販売するレッスン動画に加え、自社開発の公式コースレッスンの拡充が順調に進み、レッスン動画数は同領域において国内最大級の規模に拡大しました。その結果、新サービス群の売上高は86,262千円(前年同期比142%)と大幅な成長を記録しています。

上記の結果、当中間連結会計期間の売上高は1,234,498千円(前年同期比99%)となり、前年実績を下回る結果となりました。ただし、今期は「Creema YAMABIKO FES」の開催を見送った影響があるため、これを除けば前年比102%の成長となり、少しずつ成長軌道への回帰が見られています。

また、新サービス群やプロダクト開発等への成長投資を継続・拡大しながらも、営業利益は14,159千円(前年同期比87%)で利益を確保しつつ、経常利益では29,997千円(前年同期比186%)と大幅な増益を達成しました。親会社株主に帰属する中間純利益は23,775千円(前年同期比71%)となり、繰延税金資産の関係で前年実績を下回りましたが、計画比では順調に推移しています。

なお、当社グループはクリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントで事業を展開しているため、セグメント情報に関連した記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、3,549,830千円となり、前連結会計年度末に比べ183,089千円増加いたしました。主な増減要因は、売掛金が244,288千円減少した一方で、現金及び預金が413,807千円増加したことによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、2,421,034千円となり、前連結会計年度末に比べ159,729千円増加いたしました。主な増減要因は、預り金が151,526千円減少した一方で、長期借入金(1年内返済予定長期借入金を含む)が189,618千円、前受金が85,929千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、1,128,795千円となり、前連結会計年度末に比べ23,359千円増加いたしました。主な増減要因は、親会社株主に帰属する中間純利益23,775千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ413,807千円増加し、2,854,398千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、232,895千円(前年同期は186,885千円の使用)となりました。これは主に、預り金の減少152,809千円の方、売上債権の減少244,288千円、前受金の増加85,929千円、税金等調整前中間純利益29,997千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、9,858千円(前年同期は23,149千円の使用)となりました。これは主に、敷金及び保証金の回収による収入14,400千円の方、無形固定資産の取得による支出23,389千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は、189,618千円(前年同期は109,268千円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出110,382千円の方、長期借入れによる収入300,000千円によるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2026年2月期の連結業績予想については、2025年4月10日の「2025年2月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,440,590	2,854,398
売掛金	610,822	366,533
その他	25,285	32,033
流動資産合計	3,076,699	3,252,965
固定資産		
有形固定資産	19,295	18,527
無形固定資産	77,154	93,105
投資その他の資産	193,591	185,232
固定資産合計	290,041	296,865
資産合計	3,366,740	3,549,830
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	140,364	224,336
未払金	117,267	167,013
未払費用	73,805	78,838
未払法人税等	12,571	24,455
前受金	75,789	161,719
預り金	1,576,122	1,424,596
ポイント引当金	13,083	12,712
その他	67,159	36,575
流動負債合計	2,076,162	2,130,246
固定負債		
長期借入金	185,142	290,788
固定負債合計	185,142	290,788
負債合計	2,261,304	2,421,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	541,428	541,428
資本剰余金	1,962,548	1,962,548
利益剰余金	△1,398,724	△1,374,949
自己株式	△228	△228
株主資本合計	1,105,024	1,128,800
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△211	△626
その他の包括利益累計額合計	△211	△626
新株予約権	622	622
純資産合計	1,105,436	1,128,795
負債純資産合計	3,366,740	3,549,830

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年8月31日)
売上高	1,248,142	1,234,498
売上原価	294,822	254,605
売上総利益	953,320	979,893
販売費及び一般管理費	937,120	965,734
営業利益	16,200	14,159
営業外収益		
受取利息	397	2,667
為替差益	-	254
預り金精算益	3,072	16,410
その他	57	156
営業外収益合計	3,527	19,489
営業外費用		
支払利息	2,670	3,650
為替差損	921	-
その他	3	-
営業外費用合計	3,595	3,650
経常利益	16,131	29,997
税金等調整前中間純利益	16,131	29,997
法人税、住民税及び事業税	1,619	13,499
法人税等調整額	△19,143	△7,277
法人税等合計	△17,524	6,221
中間純利益	33,656	23,775
親会社株主に帰属する中間純利益	33,656	23,775

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年8月31日)
中間純利益	33,656	23,775
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	201	△415
その他の包括利益合計	201	△415
中間包括利益	33,858	23,359
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	33,858	23,359
非支配株主に係る中間包括利益	-	-

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	16,131	29,997
減価償却費	19,344	19,824
ポイント引当金の増減額(△は減少)	71	△371
受取利息	△397	△2,667
支払利息	2,670	3,650
売上債権の増減額(△は増加)	57,156	244,288
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△13,488	△6,683
未払金の増減額(△は減少)	△7,786	40,763
預り金の増減額(△は減少)	△195,150	△152,809
前受金の増減額(△は減少)	△27,006	85,929
未払消費税等の増減額(△は減少)	△10,801	△11,880
その他の流動負債の増減額(△は減少)	40	△15,233
その他	866	1,229
小計	△158,348	236,039
利息の受取額	397	2,667
利息の支払額	△2,624	△3,605
法人税等の支払額	△26,311	△2,206
営業活動によるキャッシュ・フロー	△186,885	232,895
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△711	△876
有形固定資産の売却による収入	-	6
無形固定資産の取得による支出	-	△23,389
敷金及び保証金の差入による支出	△22,438	-
敷金及び保証金の回収による収入	-	14,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,149	△9,858
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	300,000
長期借入金の返済による支出	△109,894	△110,382
新株予約権の行使による株式の発行による収入	626	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△109,268	189,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,144	1,152
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△320,447	413,807
現金及び現金同等物の期首残高	2,632,228	2,440,590
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,311,780	2,854,398

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

当社グループは、クリエイターエンパワーメント事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	金額
マーケットプレイスサービス	749,963
プラットフォームサービス	328,959
イベントサービス	108,345
その他	60,873
合計	1,248,142

当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

(単位:千円)

	金額
マーケットプレイスサービス	717,268
プラットフォームサービス	350,263
イベントサービス	80,705
その他	86,262
合計	1,234,498

(1株当たり情報)

1株当たり中間純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり中間純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月 1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月 1日 至 2025年8月31日)
(1) 1株当たり中間純利益	5.00円	3.53円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する中間純利益(千円)	33,656	23,775
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 中間純利益(千円)	33,656	23,775
普通株式の期中平均株式数(株)	6,734,410	6,740,057
(2) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益	4.98円	-
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する 中間純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	27,156	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	2020年2月26日取締役会決議 第12回新株予約権 新株予約権の数 44個 (普通株式 44,000株) 2020年2月26日取締役会決議 第13回新株予約権 新株予約権の数 17個 (普通株式 17,000株)	2016年2月24日取締役会決議 第5回新株予約権 新株予約権の数 13個 (普通株式 13,000株)

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、当中間連結会計期間については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有しないため記載しておりません。